

## 都市間協力や国際ネットワークを通じて世界の CO<sub>2</sub> 削減に貢献 世界で高い評価を受ける都のキャップ&トレード制度

地球温暖化による気候変動は、世界共通の深刻な環境問題となっています。東京都の気候変動対策は、削減ポテンシャルの高い都市の建築物分野への対策として、その成果が高く評価され、世界から注目されています。

### 制度導入時点ですでに注目

CO<sub>2</sub> 排出量の多くを占める建築分野にキャップ & トレード制度という仕組みを導入した東京都の気候変動対策は、まだ初年度のレポートさえ出していない制度の導入時点で、世界の多くの都市の政策担当者や専門家の注目を集めました。

それは、斬新な制度設計やテナントとオーナーの協働を制度内に組み入れるなど、実効性を担保するための手法が大きな評価を得たからです。

この制度の導入や実施の過程では、多くのビル担当者、経営者、専門家と地道な話し合いを積み重ねながら、着実な成果を上げてきました。そして、多くの国際会議に招かれ、インタビューを受け、研究レポートや雑誌にも掲載されるようになりました。

### ガバメントリーダーシップ賞

2011 年 12 月、南アフリカ・ダーバンで開催された COP17 の記者会見ホールにおいて、WGBC（世界グリーンビルディング協会）が主催し、国連ハビタット（国連人間居住計画）、ICLEI（持続可能性をめざす自治体協議会）が協賛する「ガバメントリーダーシップ賞」の発表が行われました。大賞には、まだ制度導入から間もない東京都のキャップ & トレード制度が「もっとも画期的な政策」と



C40（世界大都市気候先導グループ）とシーメンス社が主催する大都市気候リーダーシップ賞の授賞式（2013 年 9 月、ロンドン）

して選ばれました。

### C40 世界大都市気候先導グループとリーダーシップ大賞

2013 年 9 月には、C40 の「大都市気候リーダーシップ賞」を東京都が受賞しました。テナントやオーナーと協力して省エネルギーに取り組む仕組みが高く評価され、東京の都市型キャップ & トレード制度の成功は、他の都市にとっても「説得力のある良いモデル」とされました。

C40 世界大都市気候先導グループは、地球規模で進行する気候変動に

対し、世界の大都市が協働して対策を進めていくために設立されたネットワークです。東京都も 2006 年から参加し、運営委員、ネットワークリーダーとして、その取組を積極的にリードしています。

### 国際的な評価を獲得した 東京都のキャップ&トレード制度

現在、世界の人口の半数以上が都市に居住し、都市からの CO<sub>2</sub> 排出は、世界全体の 7 割を超えています。その中でも、CO<sub>2</sub> 排出の大きな割合を占める建築物への実効性ある対策は、大



米国における建築物とエネルギーに関するフォーラム  
(2013年3月、ヒューストン)

きな意味を持っています。東京都のキャップ&トレード制度は、都市の既存の建築物におけるエネルギー消費を大きく削減してきた実績で高い評価を得ています。

また、多くの識者が、世界のCO<sub>2</sub>排出抑制の切り札は、「CO<sub>2</sub>の排出に価格を付けること」、「市場を機能させること」だとしています。その点でも排出量取引を内包している東京都のキャップ&トレード制度による試みは、将来への重要なステップとして認識されています。

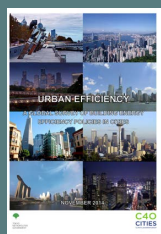
## ICLEI とも協働し 都市レベルの取組を推進

都市の気候変動対策は、国際的にも大きな意味合いをもつようになってきています。東京都は、世界85か国1,000以上の自治体が環境面で都市の諸問題の解決を目指して活動しているICLEIとも協働し、都市間で経験やベストプラクティスを共有しています。また、国際的な自治体の連帯組織を形成し、国連やその他のステークホルダーに対して、都市、自治体における気候変動対策の重要性を発信しています。



UNFCCC 技術専門家会合  
(2014年6月、ボン)

## 発表、寄稿ほか



C40と東京都の共同レポート  
(2014年11月)

2014年11月  
C40と東京都で共同レポートを発行しました。「Urban Efficiency: A Global Survey of Building Energy Efficiency Policies in Cities」東京都のキャップ&トレード制度をはじめ、世界の大都市の気候変動対策のベスト・プラクティスを特集しています。  
URL: [http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/en/int/c40/c40\\_pse\\_r.html](http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/en/int/c40/c40_pse_r.html)



C40・東京都協働フォーラム  
(2014年6月、東京)

2014年9月  
舛添東京都知事は、世界銀行が主催する「カーボンへの価格付けPut a Price on Carbon」キャンペーンに参加し、オバマ米大統領や、メルケル独首相等とともに、世界へ呼びかけるビデオ・メッセージを公開しました。



C40・東京ワークショップ  
(2014年6月、東京)

2014年6月  
C40・東京ワークショップ、フォーラムを開催しました。世界の大都市の政策担当者や情報を共有し、対策の推進に向けた協働の道を議論しました。

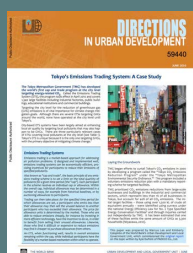
2014年6月  
気候変動枠組条約（UNFCCC）のボン会議で、世界で進む重要な取組の一例として紹介され、キャップ&トレード制度とその成果について発表しました。



ガバメントリーダーシップ賞受賞式  
(2011年12月、ダーバン)

2014年1月  
国際炭素行動パートナーシップ（ICAP）のレポート「Emissions Trading Worldwide, International Carbon Action Partnership (ICAP) Status Report 2014」にケース・スタディとして掲載されました。

2013年9月  
国際排出量取引協会（IETA）のレポート「The World's Carbon Markets」に、ケース・スタディとして掲載されました。



世界銀行発行のレポート  
(2010年6月)

2012年6月  
ナショナル・ジオグラフィックの公式サイトに制度1年目の結果が掲載されました。「Spotlight on Tokyo: world's first urban cap and trade program yield promising first-year results」

2010年12月  
世界銀行のレポートで紹介されました。「Cities and Climate Change: an Urgent Agenda」

2010年6月  
世界銀行のレポートにケース・スタディとして掲載されました。「Direction In Urban Development - Tokyo's Emissions Trading System: A Case Study」